東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ
地域を育み、大地をつなぐ

Vol.44　第2139回例会　2010.9.30

今年度会長テーマ　温故知新　そして　和

■司会：
樋口例会運営委員

■点鐘：山本会長

■合唱：ロータリーソング
「四つのテスト」

◆ソングリーダー：
村田会員

■会長報告　山本会長

皆様こんにちは。雨で気温もだいぶ下がり、凌ぎやすい気候になりました。梅雨前線が接近すると気圧の関係で頭痛を起す人が多いそうです。日本人は頭痛持ちが多く、頭痛外来の専門病院もあるそうですが、皆様は如何でしょうか。
さて今日は何かと問題が起きている中国に行ってきましたので、たまにはロータリーの話ではなく、旅の話でもしようと思います。
上海⇒福建省福州　地元の中国人のツアーに参加　白水洋(国立公園)　東京ドームより広く10～20cmくらいの水深で岩盤の上を水が流れている場所で世界中でもこの広さは何処にも無いそうです。マイクロバス20人、6人遅刻、途中でピックアップ、1時間も予定遅れる。ツアー名など表示無し、車のナンバーのみ連絡有り、遅刻の6人はツアー会社が集合場所を間違えて教えていた。片道4時間、高速2時間、山道2時間、スピードは出す、ガードレールは無い。昼食は山村部の町で魚あんかけ(臭い鯉)。平均月収は4000円。上海の高級サラリーマンで46000～50000円、ツアー代金5000円(裕福な層)。反日感情は殆ど感じられなかった。空港サービスは凄く不親切。搭乗口変更があり、危なく乗りそびれるところだった。やはり日本のサービス等は群を抜いて素晴らしい。
それでは恒例の本年度スローガンと重点事項の復唱をさせて頂きます。「温故知新　そして　和」古き　をたずね 新しきをしれば もって師となるべし。
①例会に出席し、メンバー間の懇親を深め、自分自身に有意義な例会を見つけよう。
　そして自分自身の例会出席の楽しみを見つけよう。
②例会を欠席したらメークアップを必ずしよう。
③入会時のスポンサーは新人メンバーのメークアップの面倒を必ず見よう。
④食事の廃棄を少なくする為に例会を欠席する時には、前々日までに事務局に連絡を入れよう。
⑤夜間例会、懇親会、旅行に奮って参加しメンバーの懇親を深めよう。
⑥クラブメンバーの全員卓話を盛り上げよう。
⑦マイ箸を失くさないように使おう。
⑧交換留学生をしっかりと育てよう。
⑨阿部ガバナー補佐の掲げた、キャッチアップ90(出席率90％以上)を実現しよう。
是非9月90％を達成しましょう。勿論100％が達成出来れば素晴らしい事ですが。先週お休みされたメンバーの方は、是非メークアップをお願い致します。
次に会務報告に移らせて頂きます。

■幹事報告　　中丸幹事

■東京ロータリークラブ：
国際ロータリー第2580地区懇親ゴルフ大会の概要
決勝大会　2010年11月19日(金)
於　程ヶ谷カントリー倶楽部(横浜)
各クラブ8名(最小5名)

■国際ロータリー日本事務局：
10月のロータリーレート　1ドル＝86円

■東村山市民スポーツ課：
第47回東村山市民大運動会開催の案内
平成22年10月10日(日)　午前8時20分
於　東村山市運動公園

■ガバナー事務所：
・ガバナー月信への原稿のお願いについて
「わがクラブの自慢話」
タイトル20文字以内、本文150文字程度
〆切　11月12日(金)　(※2580地区全クラブ対象)

・「意義ある業績賞」申請について
〆切　2010年12月24日(金)　必着

■ロータリー米山記念奨学会：
・クラブ米山記念奨学委員長の手引き
・米山学友の群像 No.3
・2009年度事業報告書
・決算報告書
・豆辞典
以上受理

■出席報告　　中條例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
35	33	5	7	78.79

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：3名
■前々回出席率メークアップ修正後：91.43%
■前々会メークアップ者：
赤木会員：理事会
土方会員：武蔵村山ＲＣ
戸澤会員：理事会

■ニコニコＢＯＸ　高橋(徹)クラブ管理委員

■皆出席：
野村会員(8回目)

◆樋口会員：昨日は東村山市ゴルフ大会に参加させていただきました。我が萩山町が優勝し私自身のスコアは良くないもののハンディに恵まれ貢献できました。それよりも野澤さんの名司会に始まり、田中さんの準優勝や東村山ロータリークラブの方々が積極的に参加し交流を図り盛り上げている姿に心があたたまりました。
◆村越会員：明日から(株)ムラコシ楽器店の会長になります。仕事は環境整備で机は窓際に移動しました。よろしくお願い致します。
◆野澤会員：村越さん、会長就任おめでとうございます。今後は社長の言う事をよく聞いて健康管理に邁進して下さい。

本日のニコニコ合計：　6,000円
累　　計　：　410,000円

■委員長報告

■小町クラブ奉仕委員長

地区会長エレクト・クラブ米山委員長研修会報告

9月16日ハイアットリージェンシー東京にて野村副幹事、小町が出席しました。浅川カウンセラーのもと木内地区米山奨学会委員長の米山梅吉と奨学事業についてのはなしがあり、ＤＶＤの上映、委員長の役割と寄付増進の話があり、各テーブルに分かれグループディスカッションを行いました。テーマは米山記念奨学制度に関する理解推進、寄付増進、元奨学生との交流でした。寄付金納入明細表が配布されました。
中国、韓国の学生も富裕層が多いのでは･･･選考に関しては成績重視している。

日本人にこの制度が活用できないだろうか･･･。
奨学生の進化には新しいことを実行する･･･。交流会で家族会での交流は難しい。反日感情あり。
クラブでその後の体験談を話してもらう。
特別寄付は決まった人のみが多い。
ＤＶＤの活用(無料貸し出し)をして理解を深めてほしい。

地区クラブ奉仕・プログラム委員長会議報告

9月27日ハイアットリージェンシー東京にて伊藤クラブ奉仕委員長のもと櫻井ＰＧをカウンセラーに迎え地区クラブ奉仕・プログラム委員長会議に出席してきました。櫻井ＰＧより渡辺好政ＲＩ元理事による「ロータリーの樹」で幹は職業奉仕、枝は国際奉仕、社会奉仕、花がロータリー財団、そしてクラブ奉仕が根に例えています。ロータリーが他の団体と異なるのは「一業種一会員制」「定期的な会合」「出席の強制」が義務づけられている。これは奉仕の実践、親睦を深めるために必要である。特に出席義務はお互いのロータリアンが自己研鑽を遂げるためにはどうしても出席をしなければならない。一時間の例会で「人を育てあう中で自己研鑽」、ロータリアンとしての資質向上を行うのがプログラム委員会であり委員長の腕の見せどころである。
国際ロータリー(ガバナー)は魅力あるクラブづくりであり、クラブ会長は魅力ある人づくりに力を注ぎ魅力あるロータリアンが多いクラブが魅力ある活力あるクラブになる。
8グループに分かれてセッションが行われ会員数30名位のグループにはいり意見交換をしました。共通意見としては会員数の減少にともなう委員会活動、予算面で大いに苦慮している。中にはクラブ拡大して10年強が経ち元のクラブに統合することも考える必要があるのでは。
16名会員のクラブでは月の半分は昼間、半分は夜間で食事なし(会場都合ある)。また月一回公開例会を開催し新入会員を期待しているが実績は今一つ。また多摩分区内でもここ一、二年で周年事業を迎え少人数でのやり方を模索しているようです。
今年は地区委員会の回数も多く負担等の問題でガバナーに申し入れしているようです。各セッションの意見内容は後日まとめて送られてくるので機会があればお話したいと思います。

■漆原会員増強委員長
ゴルフ部副部長

9月24日多摩分区会員増強・拡大会議に山本会長と出席してきました。各地区減少していて７月度の多摩分区は今年度234名・前年度248名△14名。2580地区は今年度3193名・前年度3248名△55名となっています。増員となったクラブは那覇ＲＣ・秋川ＲＣで＋3名となっていて、この数字を残せたのは、かなりの増員があったと思われる。中には20代の入会者があったとの事。当クラブの現状は、35名ですので何としても今年度中に40名にしたいので、皆さんのご協力を是非お願いいたします。

2580地区親睦ゴルフ決勝大会が、11月19日(金)に神奈川の程ヶ谷ＣＣにて開催予定です。各クラブ8名の参加予定です。〆切りは11月4日(木)迄ですので、是非優勝を目指してご参加願います。

■野村地区バギオ評議委員

9月16日(木)小町次年度会長と米山委員長会議に代理出席し、掛け持ちでバギオ評議委員会に出席して参りました。公益法人としての基準が厳しくなり、出席評議委員の人数によっては、開催が認められない場合がともすると起きることがあり、気の抜けない委員会です。決算月はロータリー年度と一緒で、財産的には数千万円の差損が発生したとの事。内容は財務諸表の承認と次年度計画案の承認でした。結果はつつがなく終了。

■飯田青少年交換委員長

ヤカブ・ジュカさんの第2ホストファミリーがまだ決定していません。回覧を回しますので、是非ホストファミリーとして、登録をお願いいたします。

■卓話(イニシエーションスピーチ)

■卓話者：石山会員

ロータリーの3年半で学んだこと

ロータリーに入会して、はや3年と半年がすぎました。入会のお誘いを受けたのは、初めは相羽会員が冗談半分で「ロータリーに入らない？」と何回か声をかけられていましたが、私も「無理、無理」と軽い気持ちでお断りしておりました。
本気で入会を考えたのは、前会員の小林学さんから声をかけられた時です。彼とゴルフに行った帰り、彼の行きつけの地元のちゃんこ鍋店に行き、酔って気持ちも大きくなったせいか、「じゃぁやってみようかな」と、つい口を滑らせてしまったことが始まりです。
その後、とんとんと話が進み、目時会員よりたきびにてクエをご馳走になり、生まれて初めて食べたクエの味は忘れられないものになりました。クエを食べたおかげで入会をひっくり返すことができなくなり、3月29日の入会の運びとなりました。目時さん、また機会があったら3年続いたお祝いにクエをお願いします!!(冗談です)

少しここで、私の仕事についてお話します。弊社はクリーニング業を営んでおります。私の伯父がクリーニングの仕事を久米川でしており、そこに雇われたのが私の父です。私は生まれてから5歳くらいまでは、萩山の野火止用水のあたりの借家に住み、久米川駅近辺で遊んだ記憶があります。父はその後独立をして、小金井に店を出し、そして私は大学卒業まで小金井におりました。
大学卒業後、一度就職をし横浜勤務となり、鶴見の寮に住むことになりました。その寮はなななんと、同じ建物にもかかわらず総合職の女性軍が住んでおりました。その寮にとてもとても若々しい京子さんという女性が1年後に入寮してきました。佐賀の田舎から出てきた京子さんは、丸の内勤務でどんどん洗練され、それはそれは美しく見違えるような大人の女性へと変貌を遂げたのでした。その京子さんが今の妻であります。
その後、私は会社を辞め、父の仕事を継ぐことになりました。妻は嫌々ながらも(上場企業から中小企業へ)何とか私についてきてくれて、現在は夫婦仲良く3人の子供たち(小学6年の長女、4年の次女、年長の長男)にも恵まれ、クリーニング経営に邁進しております。
5年前より社長を務め、現在多摩地区に直営店32店舗、5工場(東村山、武蔵村山、小平、日野、府中)で運営しており、10月の28日には所沢星の宮に33店舗目がオープン予定です。
ロータリーの入会前より一回り会社は大きくなりました。しかし、大きくなった半面、現在のような景気低迷の局面では非常に四苦八苦しており、舵取りが難しくなってきております。一寸先は闇という言葉を常に意識し、社長力・経営力をより一層磨き、ロータリー活動に影響が出ないよう日々精進してまいります。
趣味はゴルフ(週1)、飲み会(週2)、海外旅行(月1)、パチンコ(週1)で、どれもお金がかかり、肉体的にも精神的にも辛く、出来れば辞めたいと感じているものが多く(実際はあまり楽しくない)、頻度の低い趣味と総入れ替えしたいです。例えば、釣り、散歩(ダイエット兼)、ネットウィンドウショッピング、ドライブなどにです。
ここで話をロータリーに戻します。入会してからしばらくは何も分からずにただただ人の足を引っ張らないよう、迷惑をかけないようやってきましたが、慣れとは恐ろしいもので、だんだんと無礼な振る舞いも出てくるようになり、そんな中で参加を嫌に思う気持ちが大きくなってきたことも事実です。ロータリー活動に価値も希望も見出せない日々が続きました。その中で心の励みになったのは入会より続いてた皆出席でした。これがなかったら「ぷつっ」と切れた凧のように、どこかに飛んでいってしまったかもしれません。
続いているというのはとても大切なことだと現在では感じています。2年半を過ぎた辺りから苦痛も和らぎ、活動の中に不思議と楽しさを感じることが多くなってきました。石の上にも3年と言いますが、結果を出すスピード・判断が速くなっている昨今、じっくりじっくりというのもとても大切だと感じております。振り返ってみれば、3年なんであっという間で、10数年皆出席の諸先輩の方々からすれば大したないことかもしれませんが、あちこち気の多い、血気盛んな私にとっては勲章ものです。
たった3年半、されど3年半、懇親旅行では原子力発電所見学、沖縄泡盛60度体験や、親睦移動例会では今までで一番最高の場所での花火鑑賞、屋形船など、また世界大会に3度参加させて頂き、ヨセミテ国立公園、大英博物館、カナディアンロッキー等々、人生経験で初物も多く体験させて頂きました。これからもどんな初体験ができるのか楽しみです。
ロータリー活動は最初は大変ですがここを乗り越せば、楽しさも見えてくるので、新入会時の会長の言葉として、また、新しい会員さんに向け「まずは3年皆出席」の合言葉でぜひ継続してみてはいかがでしょうか。登山も登り始めは感動少なくキツイだけですが、徐々に素晴らしいものを得ていき、最後に大きな達成感と最高の感動を味わうじゃないですか･･･。
そして、常にアンテナを高く姿勢は低くの意識を持ち、言葉づかいと健康に十分注意し、「ノム･ウツ･カウ」はできるだけ控え、そういえば明日よりタバコが110～120円値上がりしますが、皆さんはこれを機にどうされるのでしょうか･･･？
準備万端でロータリーの活動に励んでまいりますので、これからも皆さんよろしくお願いします。

■卓話者：土田会員

自分のライフワークの1つである租税教育についてお話ししたいと思います。本来租税教育は、学校でするものだが、現実には授業時間の確保が難しい。小学校や中学校に出向いてお話やら、スクリーン・プロジェクター・ビデオを使用して理解して貰います。中学生の教科書では3ページしかなく、時間が無くなるとカットされてしまいます。また、指導する先生方も確定申告する必要が無いため税に対する知識が十分ではない。時によっては、教師の方々が一番感心している状況である。ある時先生から質問が有り、先生のためにここに来ている訳では無いと申し上げたときもあった。税務署が中心になって、働きかけているが、税理士の行う租税教育は、教育基本法に則り、法律の定めに従って納税の意義・役割・機能・仕組み等の歴史的、客観的な情報を提供し、国民とともに考えることで、租税意識の高揚を図る事にある。
私がこの租税教育に携わるきっかけは、平成13年にゆとり教育が始まり、東村山第6中学校における「地域に学ぶ」において、青年会議所として招かれたことに始まる。その時は渡部現市長(当時は市議会議員)と一緒にお話ししました。翌年からは、単独で「やさしい税金教室」と銘打ち、租税教育を実施。更に「続・やさしい税金教室」として受け持ったが、更なる活動の広がりを求めて、他の税理士に助けを求めて今現在に至っています。
東村山管内の中学生向け職場体験が始まり、3中の生徒が突然訪ねてきて、協力要請があったが、税務事務所は、個人情報だらけなので非常にまずいので、検討の結果、初日は東村山税理士会支部として受け持ち、2日目は税務署、3日目は都税事務所ということで、職場体験については、協力してきています。内容としては、ビデオ鑑賞・税金クイズ・家庭の財布・国の財布・税金ゲーム・ディスカッション(今日の印象)としています。特に家庭の財布との対比が良くわかる。
小学生向けには、ビデオ鑑賞・マグネットフリップを使いながら家庭の財布から国の財政を考えています。先日の廻田小学校の学校解放日には、体育館で5年生向け税金ゲームを実施しました。
まとめとしてこれからは、いくつか自分で決めているライフワークの１つとして、租税教育を税理士が出来る社会貢献として、でき得る限り活動していきたいと思っています。自分の子供も成長してしまったので、世代間交流としても良いのではないか。また、明るく、やさしい東村山を目指して、租税教育を進めていきたいと思っています。

■点鐘：山本会長